

「中学生の税についての作文」 優秀作品表彰

12月13日、役場において「中学生の税についての作文」の表彰式が行われました。富士見中学校から、作文133点が応募され、そのうち「長野県納税貯蓄組合連合会長賞」を1名、「諏訪納税貯蓄組合連合会長賞」を2名受賞し、「富士見町長賞」を5名が受賞されました。

【受賞作文】

●長野県納税貯蓄組合連合会長賞 …… 1名	「私達の生活と税金」	3年	小林七味
●諏訪納税貯蓄組合連合会長賞 …… 2名	「税による負担」	3年	小池康平
	「税と私たちとの深いかかわり」	3年	植松咲奈
●富士見町長賞 …… 5名	「『税』について考え、感じた事」	3年	松岡楓
	「日本を守る私たち」	3年	樋口朋果
	「私たちに大切な税金について」	3年	雨宮理紗
	「税金はなぜ」	3年	中山栄優
	「未来を担う税金」	3年	名取美樹

◎長野県納税貯蓄組合連合会長賞を受賞された作文をご紹介します。

「私達の生活と税金」

富士見中学校 3年 小林七味

私の住んでいる富士見町は、約3人に1人がお年寄りの町です。私はこのことを、授業で税の学習をした際に知りました。このような少子高齢社会が進んでいけば、社会保障制度で生じる年金や医療費等が増えていき、その分働く人々の大きな負担になります。そんなことがこの先ずっと続いて行けば、私達の生活はどんどん苦しくなっていくと思います。

それはとても困ることなので、どうしたらこの状況を乗り越えられるか考えました。それにはやはり働く人の増加、つまり子供が増えていくことが必要だと思います。そして子供が増えていくには、女性が子供を産みやすく育てやすい環境をつくるのが大切だと思います。例えば出産にあたって会社を休む時のお給料や、子育てにかかる費用を国や自治体をもっと負担していくこと等です。そうすることで女性はもっと子供を産みやすくなると思うし、必要かそうでないかわからないような道をつくるより、よっぽど意味のある税金の使い方だと思います。

そしてもう一つ、税の学習をして知ったことがあります。それは、今この瞬間も増え続ける日本の借金についてです。全体で約750兆円、国民一人あたり約589万円というこの数字をきいて、私はとても驚きました。あまりにも大きな金額だと思ったからです。このままでは、いずれ日本という国は倒れていくと思います。そうなる前に、私達は税金について見直していくことが大切だと思います。いらぬ所に税金が使われていないか、逆に税金が必要な所へきちんと税金が使われているのかということです。一人一人がきちんと考えていけば必ず改善策は見つかると思います。そして、納めるべき税金をきちんと納めるということも大切だと思います。

私は税の学習を通して、私の生活は税金に大きく支えられているということを学びました。私に通っている学校、使っている机やイス、毎日歩く通学路の道路、これらは全て税金でまかなわれていて、私の生活に欠かせないものです。税金は、私達の生活と深く関わっているものであり、国民一人一人の生活を守る大切な大切なお金です。だからこそ私は税金を私達の未来へつながるような正しい使い方が出来たらいいなと思いました。私はこれからも、税金について考え続けられる人になりたいです。

